

新規プロジェクトの作り方 VC2012Ver.

2015年度基礎輪講

新規プロジェクト

ファイル

→新規作成

→プロジェクト

→名前や場所を設定

デフォルト 「documents¥visual sutdio 2012¥Projects」

最近使用したファイル

.NET Framework 4.5 並べ替え基準: 既定



インストール済み テンプレートの検索

インストール済み

テンプレート

Visual C++

ATL

CLR

全般

MFC

テスト

Win32

LightSwitch

他の言語

その他のプロジェクトの種類

モデリング プロジェクト

サンプル

オンライン



Win32 コンソール アプリケーション

Visual C++



MFC アプリケーション

Visual C++



Win32 プロジェクト

Visual C++



空のプロジェクト

Visual C++



メイクファイル プロジェクト

Visual C++

種類: Visual C++

Win32 コンソール アプリケーションを作成するためのプロジェクトです。

名前(N):

ConsoleApplication1

場所(L):

c:\users\demo\documents\visual studio 2012\Projects

参照(B)...

ソリューション名(M):

ConsoleApplication1

☒ ソリューションのディレクトリを作成(D)☐ ソース管理に追加(U)

OK

キャンセル



Win32 アプリケーション ウィザードへようこそ

概要

アプリケーションの設定

現在のプロジェクト設定:

- コンソール アプリケーション

現在の設定を有効にするには、**完了**をクリックしてください。

プロジェクトの作成後、プロジェクトの readme.txt ファイルでプロジェクトの機能と生成ファイルに関する情報を参照してください。

< 前へ

次へ >

完了

キャンセル



アプリケーションの設定

概要
アプリケーションの設定

- アプリケーションの種類:
- ☐ Windows アプリケーション(W)

☒ コンソール アプリケーション(O)

☐ DLL(D)

☐ スタティック ライブラリ(S)
- 共通ヘッダー ファイルを追加:
- ☐ ATL(A)

☐ MFC(M)

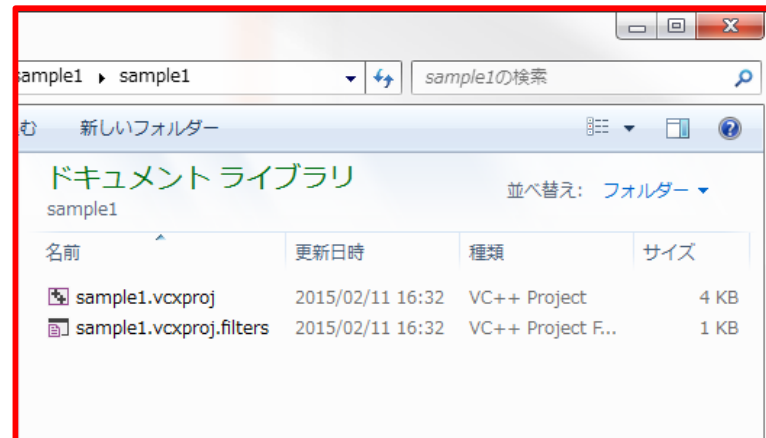
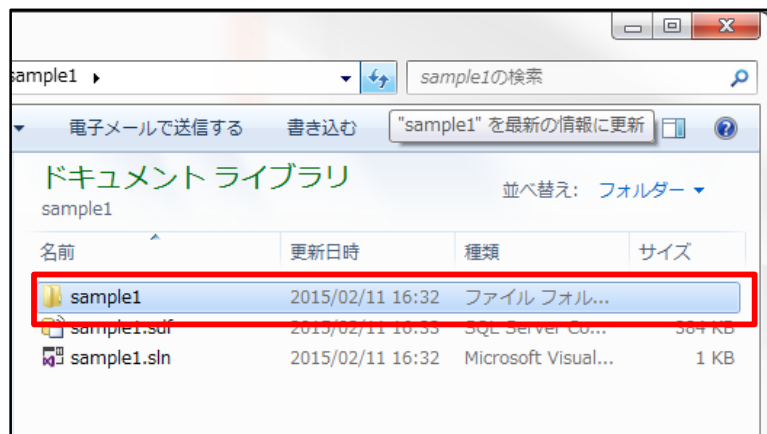
- 追加のオプション
- ☒ 空のプロジェクト(E) ← 空のプロジェクトを選択

☐ シンボルのエクスポート(X)

☒ プリコンパイル済みヘッダー(P)

☐ Security Development Lifecycle (SDL) チェック(C)

作業フォルダ



(デフォルトの場合)

ドキュメント→visual studio 2012→Projects→プロジェクト名

このフォルダにサンプルコードの

main.cpp, main.h, image, output をコピー

ファイルの追加

ソースファイル

→右クリック

→追加

→既存の項目

→main.cpp

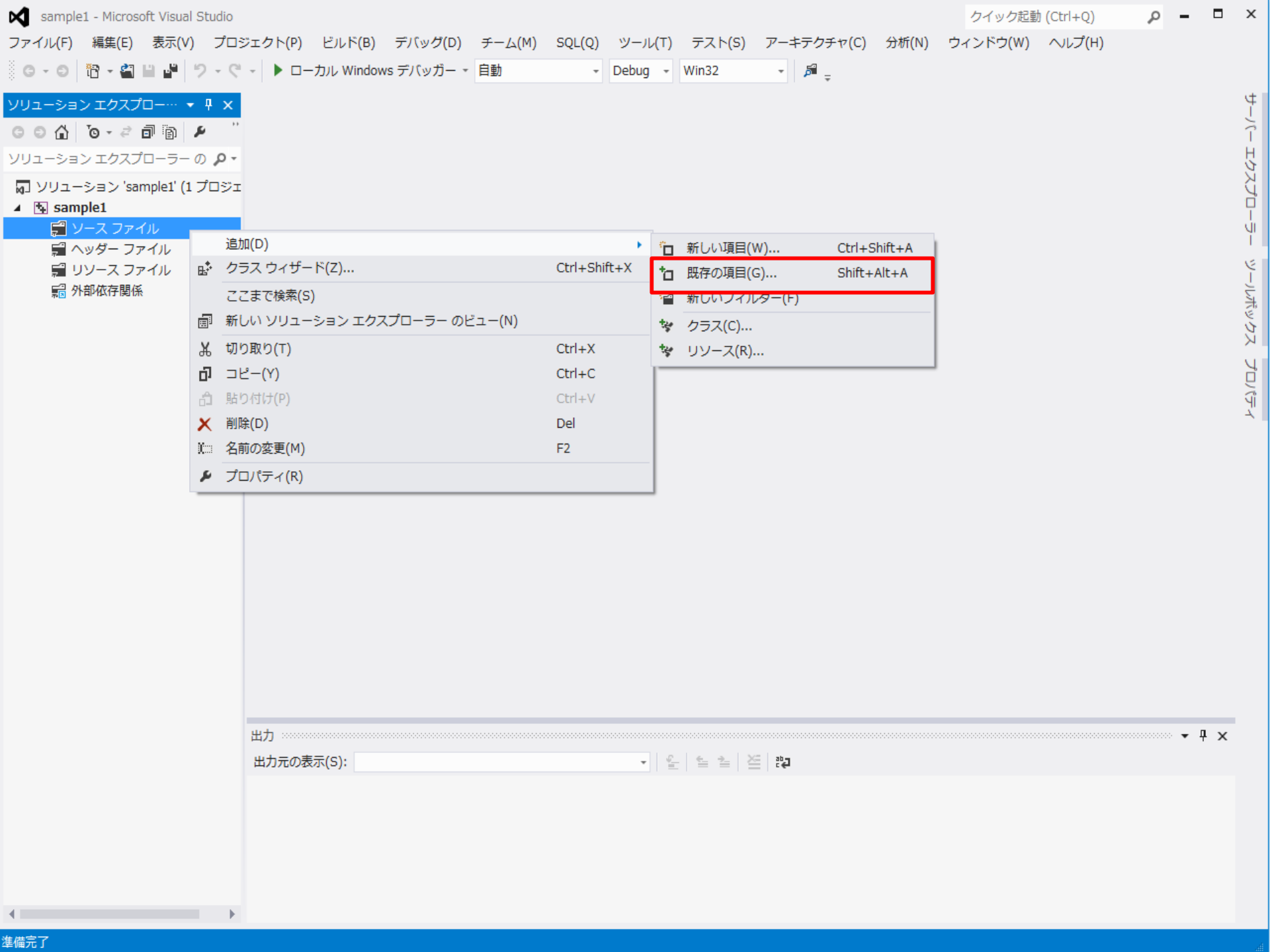
ヘッダーファイル

→右クリック

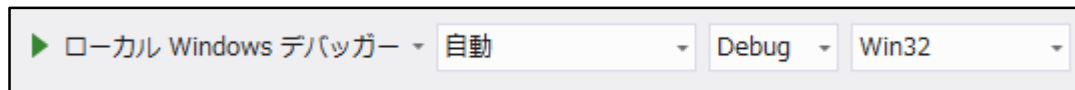
→追加

→既存の項目

→main.h

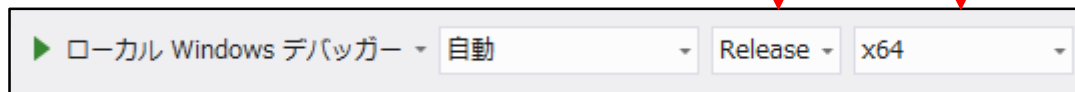


デバッグの方法



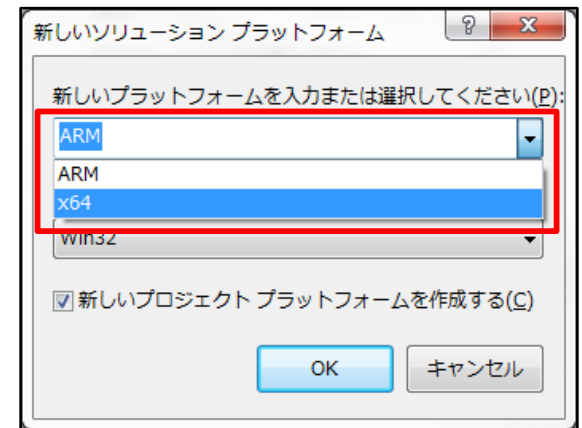
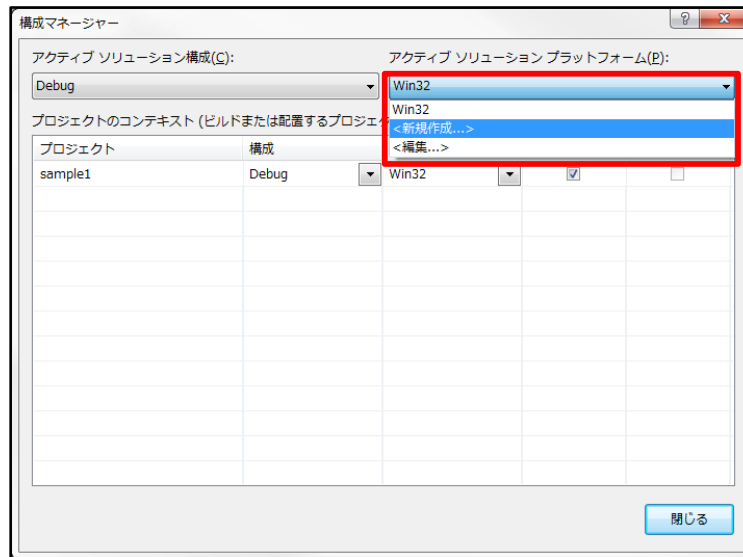
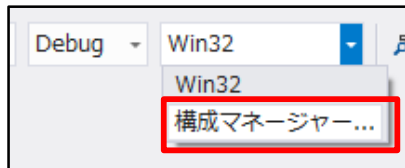
Debug or Release

32bit or 64bit



32bitと64bitを切り替えると必要なlibファイルなどが変わるので注意

64bitの設定



ライブラリへのリンク

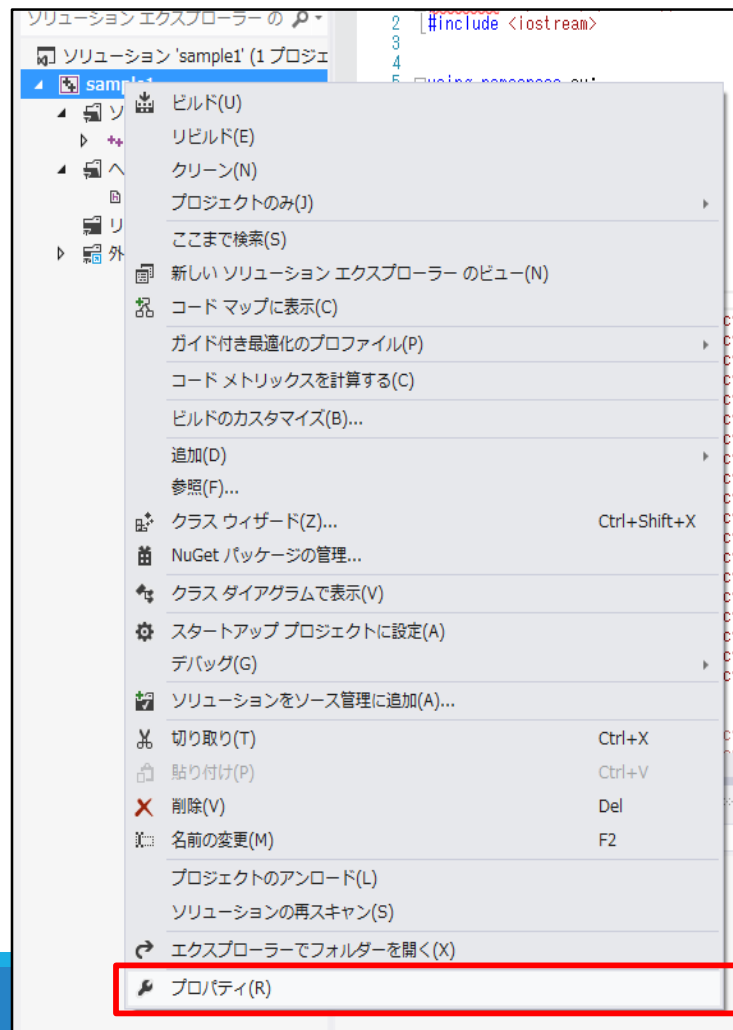
- インクルードファイル
→用意されている関数の宣言
opencv.hpp等
- ライブラリファイル
→用意されている関数の中身
opencv_core249.lib等

OpenCV等のライブラリを使うためには、Visual Studioの設定で上記のファイルがどこにあるかを設定する必要がある。

- インクルードディレクトリ
- ライブラリディレクトリ
- ライブラリファイル

インクルードディレクトリ

プロジェクト名を右クリック
→プロパティ



インクルードディレクトリ

構成プロパティ

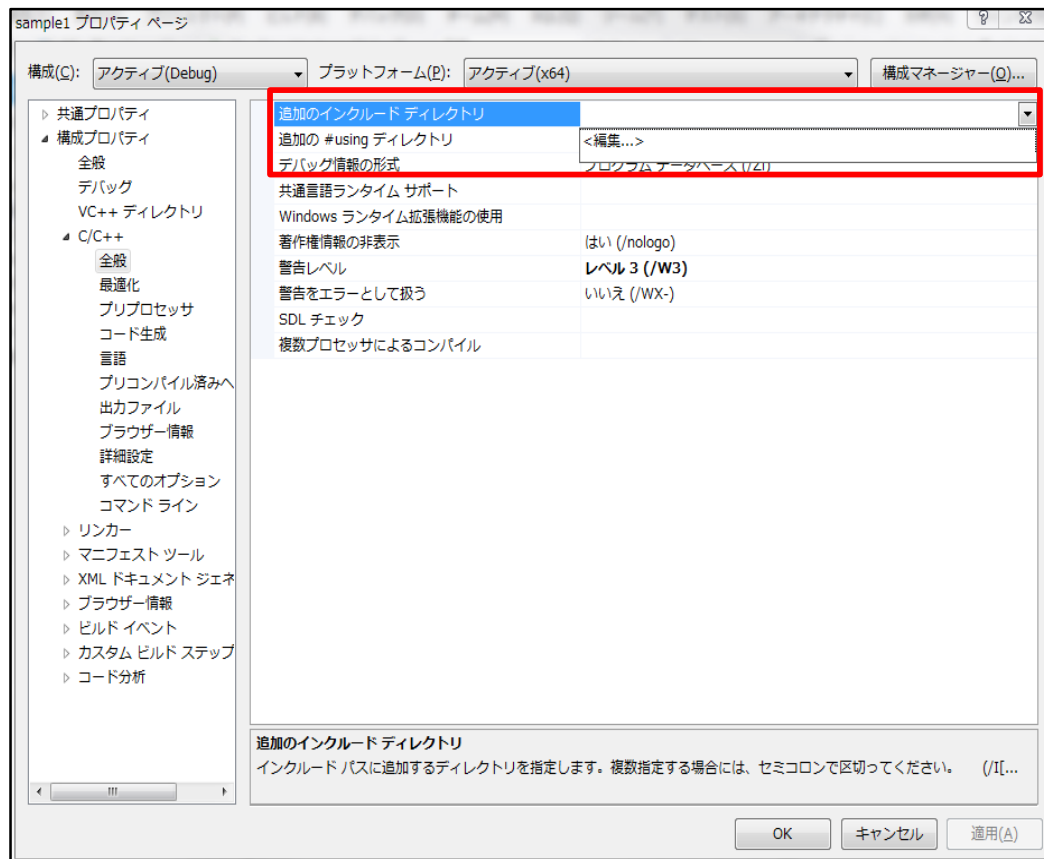
→C/C++

→ 全般

→追加のインクルードディレクトリ



→ 編集



インクルードディレクトリ

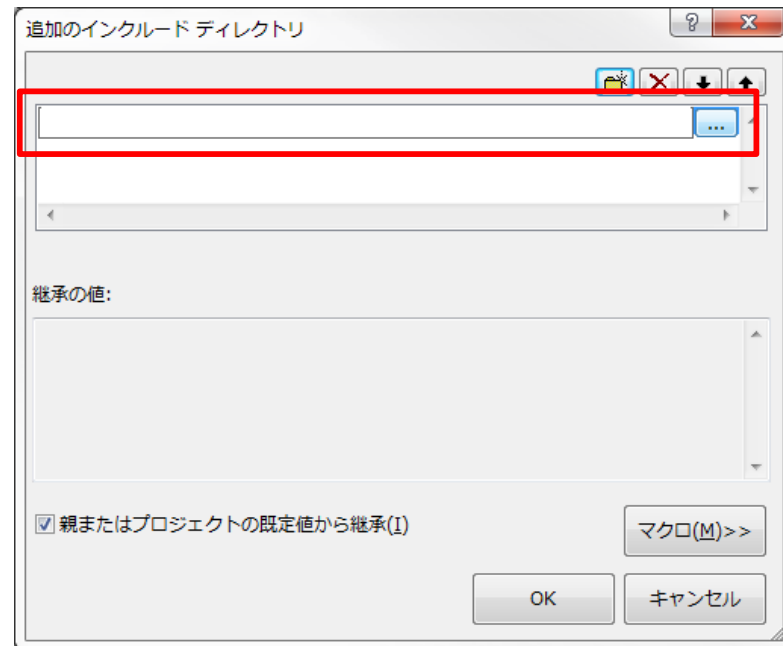
新しい行

→空白をクリック

→...をクリック

→ディレクトリを指定

例 C:\opencv\build\include



ライブラリディレクトリ

構成プロパティ

→リンカー

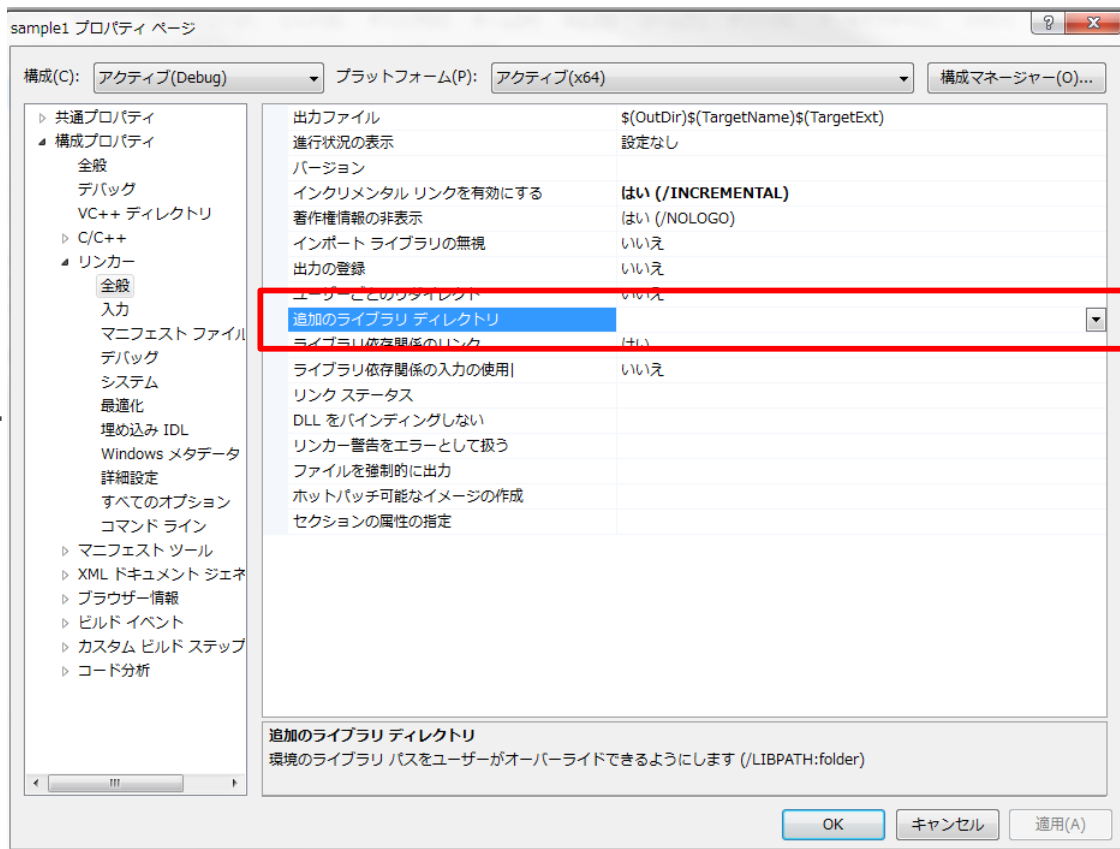
→ 全般

→追加のライブラリディレクトリ

→インクルードディレクトリと同様に

例

C:\opencv\build\x64\vc11\lib



ここまででビルドができるはず！

ライブラリファイル(今回はいじらない)

- Visual Studioで設定

構成プロパティ→リンカー→入力→追加の依存ファイル

- コードに記述

```
#pragma comment(lib,"C:\¥¥opencv¥¥build¥¥x64¥¥vc11¥¥lib¥¥opencv_calib3d249d.lib")
```

Debug, Releaseそれぞれで設定する必要あり

例 Debug:opencv_calib3d249d.lib

Release:opencv_calib3d249d.lib

サンプルはコードに記述する方法です.

(補足)プロパティシート

設定がいちいちめんどくさい！

→プロパティシートの利用

Visual Studioに上記の設定を読み込ませることができるファイル

表示→プロパティマネージャー→プロジェクト名左の三角形

→Debug | x64→既存のプロパティシートの追加

例opencv_fordebug_x64.props

Releaseも同様